

## SD (Staff Development) 関連事業

### <事業概要>

大学を取り巻く環境が急激に変化している状況において、大学の管理運営のあり方が重要な位置を占めるようになり、大学職員の担う役割は非常に大きくなっています。また、2017年4月1日にSDが義務化されたことにより、大学職員の能力開発・向上は必須となりました。そのような環境に適応すべく、大学職員を対象とした管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための様々な事業を展開しています。

### <主な活動項目>

- ◆大学職員共同研修プログラム ➡ SD共同研修プログラム (2019年度名称変更)
- ◆SDフォーラム

#### ※DI (Diffusion Index)値とは

「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して、単一の値に集約する加工統計手法のこと。または、この方法によって得られた指数をいう。DIは、時系列データであれば値の増加(プラス)／減少(マイナス)、サーベイデータ(アンケートなど)であれば回答を良い／悪いなどの属性に分類し、その属性の個数を集計して全系列数に占める割合などから算出する。

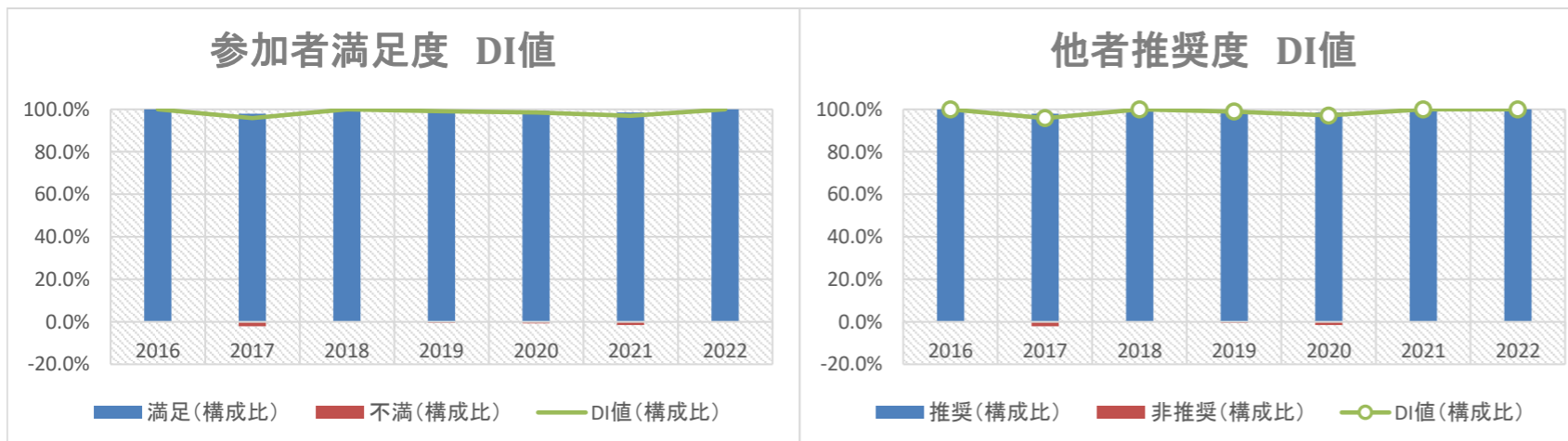
<http://www.itmedia.co.jp/im/articles/0707/09/news108.html>

- ◆大学職員共同研修プログラム ➡ SD共同研修プログラム (2019年度名称変更)
- ◆SDフォーラム

### ◆SD共同研修プログラム

#### <事業概要>

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルを修得できる場として提供し、職務遂行能力向上に寄与します。また、能力・スキル向上型研修に加えて、「基礎知識獲得型」研修を実施し、研修の幅を広げ、より多様な受講者に対応できるよう企画しています。



#### 参加者満足度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
満足(名)	109	95	134	200	134	131	150
不満(名)	0	2	0	1	1	2	0
満足(構成比)	100.0%	97.9%	100.0%	99.5%	99.3%	98.5%	100.0%
不満(構成比)	0.0%	-2.1%	0.0%	-0.5%	-0.7%	-1.5%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	95.9%	100.0%	99.0%	98.5%	97.0%	100.0%
参加者数(名)	114	98	150	210	192	152	179

#### 他者推奨度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
推奨(名)	106	94	132	199	136	120	126
非推奨(名)	0	2	0	1	2	0	0
推奨(構成比)	100.0%	97.9%	100.0%	99.5%	98.6%	100.0%	100.0%
非推奨(構成比)	0.0%	-2.1%	0.0%	-0.5%	-1.4%	0.0%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	95.8%	100.0%	99.0%	97.1%	100.0%	100.0%
参加者数(名)	114	98	150	210	192	152	179

### <参加者の声>

○成長において振り返りが非常に重要であるかの確認ができたことと、振り返りは主観によって行うということに大きな驚きを感じて参考になった。

○学びや気づきは多かったが、本研修に参加した理由として、大きなチームで様々な立場のメンバーがいる中でどのように一人一人を育てチームとして機能させるかという点に課題を感じていたため、もう少し理論よりも実践的な話が聞けたら良かった。

○研修を受けるまでは、学修に関するアドバイスを事務職員が行うことは難しいと考えていました。今回の研修を受けて、事務職員であっても現在の課題整理や関連部署への丁寧なリファー、情報提供等を通じて、支援できることがあると考えるようになりました。学生と個別面談を行うことはないのですが、今回の研修で学んだことを窓口対応で活かしたいと思います。

○今後の学びを深めるための、参照すべき書籍やサイト等があればご教示いただけるとより幸いです。

### <参加者の声を受けて改善を図った点>

○過年度に計画された研修プログラムのメニューに加え、引き続き、加盟校の多様なニーズに対応すべく、研修プログラムを検討し、実施の可能性を探る。

○能力・スキル向上型研修に加えて、「基礎知識獲得型」研修の充実を図り、多様で幅広い層の受講者に対応できるような企画を展開する。

○2022年度も2021年度に引き続き、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、ほぼオンラインによる開催となったが、一部、対面開催で効果が期待されるものは、感染状況が比較的安定した時期に感染対策を十分に行いながら対面で開催した。

### 【総括】

参加者数については、2022年度全体で178名であった。定員充足率は、75.7%で昨年度の60.4%を上回る結果となったが、年次計画の目標としていた「定員充足率85%以上」を達成することはできなかった。定員が充足しなかった要因は、オンラインでの研修プログラムが増え、参加者の選択肢が広がったこと、また、オンライン開催で物理的な制約が無く、募集定員を増やしたことなどが考えられる。一方、個別のプログラムでは、「大学職員業務、補助金獲得への道」「中途退学予防最前線」の2研修に限定すると、定員充足率は116%となり、前年度に引き続いて大学職員に求められる実学的な基礎知識習得にかかる研修はニーズが高かったと考えられる。

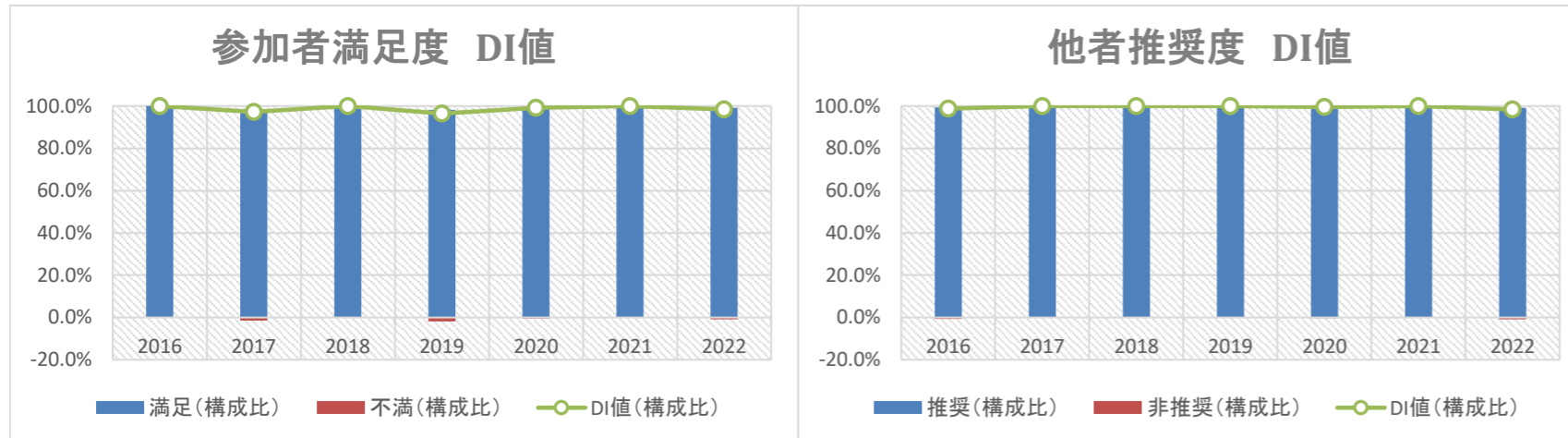
研修内容については、5段階評価のうち「満足」と「ほぼ満足」が98%を占め、昨年度の96%を上回る結果となり、目標としている「満足度80%以上」を達成することができた。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「知るほどなっとくビジネスマナー」「頭の中をすっきり視覚化！マインドマップ活用術」「これからの大学職員“アカデミックアドバイザー”（基礎）」以外の研修については、Zoomミーティングを使用したオンラインでの開催となったが、昨年度からの経験を生かして、大きなトラブルなく実施することができた。講師もオンラインならではの研修内容の工夫がなされ、より研修成果が高まったと考えられる。

今後も引き続き、SD研修委員会において、これらアンケート結果などを参考にし、大学を取り巻く環境の変化に応じた研修内容や講師の招聘を検討する。

## ◆SDフォーラム

### <事業概要>

高等教育の動向を踏まえての先進事例紹介の場、また、外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として提供し、新たな知見修得に寄与します。各加盟校や他組織における類似企画との差別化を図るために、プログラム（分科会数、規模等）や運営面でより魅力的なものとなるよう、アンケート結果等からニーズを分析し、SD研修委員会においてプログラムの充実を図ります。



### <参加者の声>

- 各大学によって、対応は様々になると思いますが、今後の大学職員の働き方を少し考える機会となりました。
- 若い職員の育成に関して、自身で課題と感じている事柄などについて、データや先生方のご意見をお聞きでき、その解決策の方向性が間違っていないことを確認できた。
- 普段の業務ではなかなか意識することが難しい、大学の社会的役割や、大学職員としての使命・目標を示していただき、自分のキャリア形成にとっても大きな学びとなりました。
- 直面している課題（社会環境、経営資源、組織文化教員・職員の多忙さ、業務改革の停滞等々）について整理・分析されたお話を伺い、現状を再認識でき、踏み出すべき方向を考える機会となりました。
- 来年度以降は、対面とのハイブリッド開催を希望します。会場の空気感の中で、質疑応答をしていただきたいと思います、と存じます。

### <参加者の声を受けて改善を図った点>

- 大学を取り巻く環境の変化に対応すべく、年に1回、時流に合ったテーマでSDフォーラムを開催する。
- 2022年度はSDフォーラム第20回の節目の年であったため、初めての試みとして、オンラインで情報交換会を実施し、分科会の講師毎のルームを設けて、参加者が自由にルームを行き来できる仕組みを設けた。
- 2022年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインでの開催となったが、概ね好評価の意見が寄せられ、次年度以降もオンライン開催を継続する。

### 【総括】

2022年度のSDフォーラムも、2020年度から引き続きコロナ禍の影響により、オンラインにて開催した。2022年度は3つの分科会、情報交換会を開催した。

アンケートによると、参加者からは、基調講演、分科会ともに好評な感想が多く寄せられた。

また、オンライン開催についても、昨年度同様、高評価な意見が多く寄せられた。

参加者数については163名と、昨年度の108名を上回った。

2023年度のテーマについては、SD研修委員会で議論を重ね、引き続き、大学を取り巻く状況、教職員の関心の高いテーマでのプログラムを提供していく。また、オンライン開催は継続し、より充実したフォーラムとなるよう努める。

### 参加者満足度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
満足(名)	161	71	108	110	455	74	121
不満(名)	0	1	0	2	2	0	1
満足(構成比)	100.0%	98.6%	100.0%	98.2%	99.6%	100.0%	99.2%
不満(構成比)	0.0%	-1.4%	0.0%	-1.8%	-0.4%	0.0%	-0.8%
DI値(構成比)	100.0%	97.2%	100.0%	96.4%	99.1%	100.0%	98.4%
参加者数(名)	205	154	159	131	533	108	163

### 他者推奨度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
推奨(名)	159	86	104	105	442	78	118
非推奨(名)	1	0	0	0	1	0	1
推奨(構成比)	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	100.0%	99.2%
非推奨(構成比)	-0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.2%	0.0%	-0.8%
DI値(構成比)	98.8%	100.0%	100.0%	100.0%	99.5%	100.0%	98.3%
参加者数(名)	205	154	159	131	533	108	163